

かつての任務校で *English Grammar in Use* を使った授業実践法を本書の強みと弱みを交えて講演いただきました。

○問題意識：「たくさんの文法問題演習を生徒に課したにもかかわらず生徒の自由英作文スキルが向上しなかった」その理由を主に動詞の使い方の理解不足にあり、したがって S+V 構造理解強化させたい。この経験から *English Grammar in Use* を高校1年生で使うことに至った

○結果：間違いやすい英文法項目を比較しながら演習することができた。生徒は英文法を「英語で理解する」ことにつながった。自由英作文も向上した。

○本書の良さ：「状況、場面設定のとらえ方の違い”Speakers Focus”で使われる文法が変わる点が理解できることが良い＝「暗記型の文法パターンプラクティスだけでは本当に頭を使って理解できない」のではないか？

他に、英英辞典の活用・洋書の多読指導も併用した実践をご紹介します。

質疑応答コーナーでは、あくまでもディベート等の「生徒が英語を使う実践機会」を減らさない授業を提案されていたことがとても印象的でした。

多数の先生方が *English Grammar in Use* 授業実践法に熱く耳を傾けられていました。